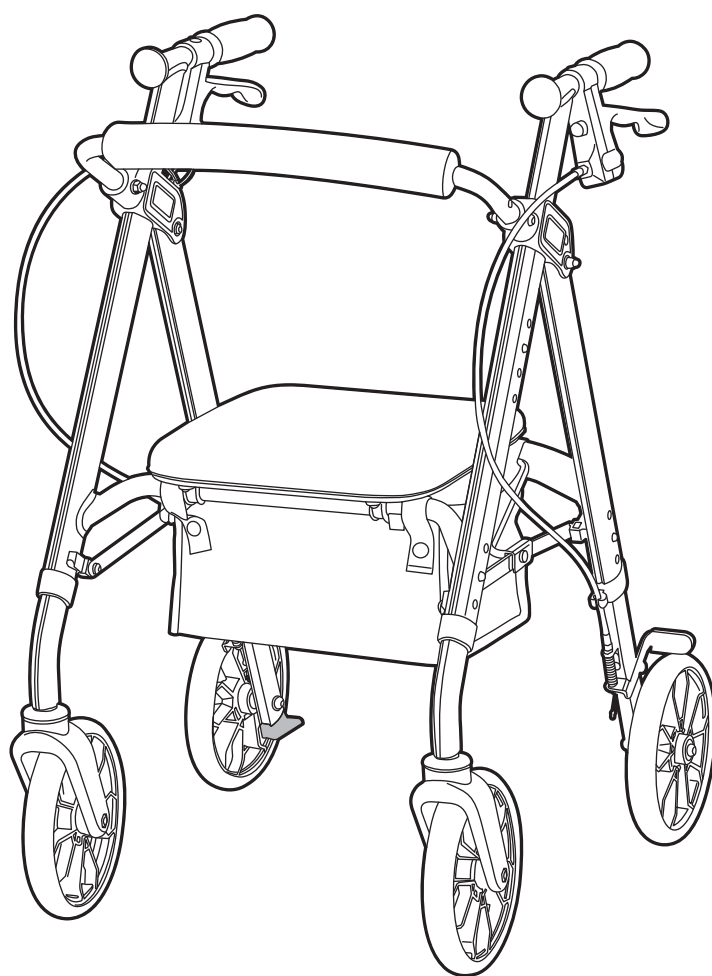


保証書付



アルコーステラ

取扱説明書



この度は、本製品をお買いあげいただき、ありがとうございました。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。

また、読まれたあとは大切に保管してください。



製品に関して不明な点や不具合がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。


もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
使用前の準備	5
使用方法	7
メンテナンス・保管	9
故障かな?と思ったら	10
仕様	10
保証とアフターサービス	11


安全上のご注意


この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

-  **警告** 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
-  **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。




 記号は、気をつける必要があることを表しています。

図記号の意味

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

	<p>使用前に必ず医療機関、介護支援専門員（ケアマネージャー）、福祉用具専門相談員などに相談してください。</p> <p>危険が予想される場所（階段や床面の開口部付近など）では使用を避けるか、必ず介護の方が付き添い注意してください。転落、転倒による重大な事故になる恐れがあります。</p> <p>認知症の方が使用される際は、必ず介護の方が付き添い注意してください。思わぬ行動でけがや事故をされる恐れがあります。</p> <p>破損や異常を発見した場合は直ちに使用を中止して下さい。そのまま使用すると重大な事故につながる恐れがあります。</p> <p>次のような環境で使用する場合は十分にご注意ください。転倒、事故、けがの原因になります。</p> <p>■坂道 ■バスや電車の中 ■交通の頻繁なところ、混雑しているところ ■踏切 ■溝や凹凸のある場所 ■夜間など見通しの悪いとき</p>	
	<p>この製品は、自立歩行を補助するための歩行車ですので他の用途には使用しないでください。</p> <p>次のような環境では絶対に使用しないでください。転倒、事故、けがの原因になります。</p> <p>■エスカレーター ■砂や泥のある場所 ■水たまり ■滑りやすい場所 ■階段 ■暗くて周囲が見えない場所 ■風の強いとき ■その他の危険が予想される環境</p> <p>次のようなときは使用しないでください。転倒、事故、けがの原因になります。</p> <p>■飲酒后 ■薬物等による酩酊状態 ■睡眠薬服用後 ■麻酔が効いた状態 ■その他の感覚や判断力が正常でないとき</p> <p>この製品の最大使用者体重は100kgです。体重100kgを超える方は使用しないでください。車体が破損・変形してけがをする恐れがあります。</p> <p>収納バッグの中に、乳幼児やペットを乗せないでください。破損や思わぬ事故の原因となります。</p>	
		<p>買い物袋などの荷物を吊り下げる場合は、グリップ前輪側の買い物袋フック部分に吊り下げてください。2kg以上の荷物を吊り下げたり、買い物袋フック部分以外に吊り下げないでください。</p> <p>ハンドブレーキは、左右同時にかけてください。</p> <p>ハンドブレーキは必ず手で操作してください。他の物でブレーキ操作しないでください。</p> <p>段差や溝などにつまずくと、転倒の危険がありますのでご注意ください。また、段差には斜め方向から侵入しないでください。段差の手前で必ず一度止まり、十分注意して慎重に越えてください。</p>
		<p>車体は片手で操作しないでください。必ず両手で車体を操作し、バランスを保ちながらゆっくりと歩行してください。</p> <p>グリップ以外の部分を持って歩かないでください。</p> <p>グリップの一方にだけ体重をかけて歩かないでください。</p> <p>グリップに寄りかからないでください。車体が動いたり、転倒する恐れがあり危険です。</p> <p>フレームに足をかけたり、乗った状態で使用しないでください。フレームの破損、転倒の原因となります。</p>
		
<p>座面に座る前に、必ず駐車ロックをかけ、左右の後輪がしっかり固定されていることを確認してください。</p> <p>座面に座るときおよび座面から立ち上がるときは、車体が動かないことを確認した上で、ゆっくりと身体を動かしてください。</p> <p>座面に座るときおよび座面から立ち上がるときにグリップを使用する場合は、必ず両方のグリップを握ってください。片方だけに寄りかかると、転倒の危険があります。</p> <p>座面に座るときは、身体をまっすぐ前に向けて座ってください。座面に対して斜めや横向きに座ると、バランスを崩して転倒する恐れがあります。</p>		

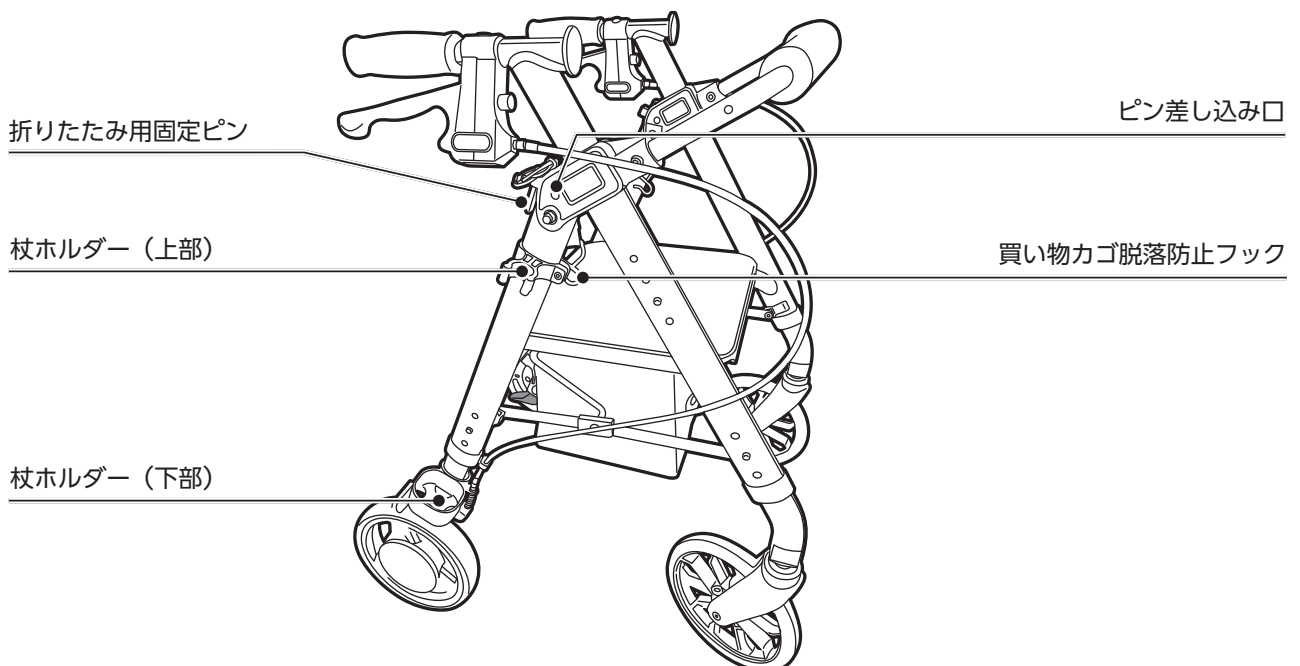
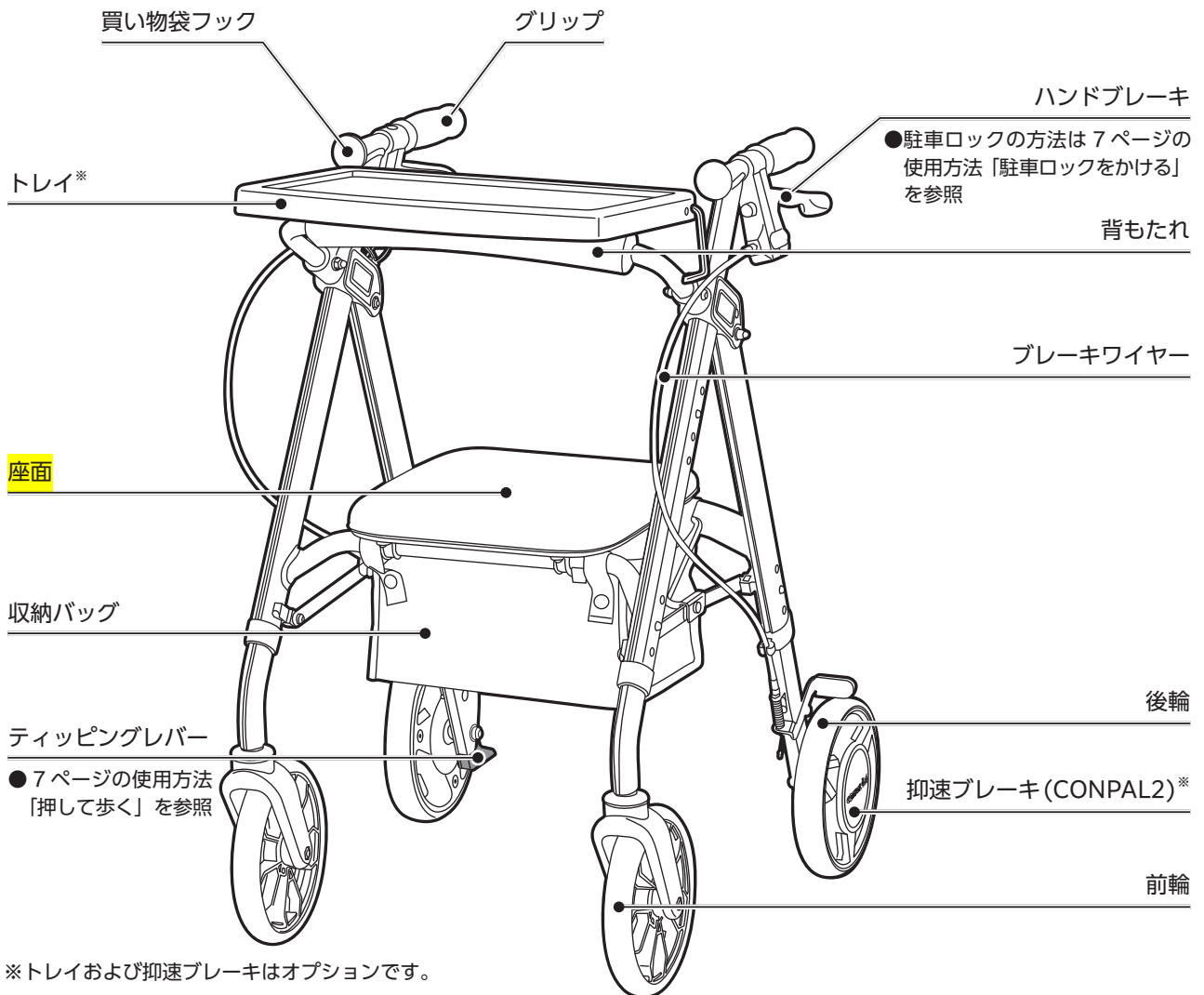
⚠ 警告

座面について	⊘	座面に座ったまま、車体を前後に動かさないでください。
		勢いよく座らないでください。車体に変形したり、破損する恐れがあります。
		車体を折りたたんだ状態で座らないでください。
		分解・修理の際は自身で行わず、お買い上げの販売店までご連絡ください。

⚠ 注意

!		折りたたみや調節（各部の固定など）は確実に行ってください。また、指などをはさまないように注意してください。
		ご使用前には各部を点検し、フレームや各部に亀裂、破損、変形などが見られる場合は使用しないでください。
		ハンドブレーキと駐車ロックを使用する際には、左右の後輪が確実に固定されていることを確認してください。
		ブレーキを解除したときには、後輪がスムーズに回転することを確認してください。
		ブレーキワイヤーの先端が足に当たらないようにしてください。けがの原因になります。
		ネジなどにゆるみがないこと、グリップがしっかりと固定されていることを確認してください。
		タイヤやブレーキに磨耗がないことを確認し、必要に応じて交換してください。交換する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
		ご使用の際は、必ずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒などの思わぬ事故につながる恐れがあります。
⊘		左右のハンドルの高さが異なる状態で使用しないでください。転倒による事故やけがの原因になります。
		トレイに最大積載荷重（3kg）を超えるものを載せないでください。
歩行のとき	!	踏切を横断する際は、踏切レールの隙間に注意し、路線に対して直角に横断してください。
	⊘	ハンドブレーキを握った状態や駐車ロックをかけた状態で歩行しないでください。
		車体から離れるときは、必ず駐車ロックをかけてください。また、非常口や消火器、消火栓の前に放置しないでください。
		坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえ駐車ロックをかけても動くことがあり、大変危険です。
		座面に人を乗せたまま押さないでください。
		グリップに勢いよく負荷をかけないでください。
ペットの散歩には使用しないでください。転倒などの思わぬ事故につながる恐れがあります。		
座面について	!	座面シートパーツが劣化した場合は、交換が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
		座面に買い物カゴを乗せる場合は、必ず買い物カゴ脱落防止フックを使用して、買い物カゴを固定してください。
	⊘	坂道など斜面では座らないでください。
		座面に浅く座らないでください。
		座面を踏み台として使用しないでください。
幼児や子供を座面に立たせたり、操作させたりしないでください。		
収納バッグについて	⊘	収納バッグに荷物を入れた状態で折りたたまないでください。
		収納バッグの中に、貴重品を入れたまま車体からはなれないでください。
		収納バッグの中に、刃物など鋭利な物を入れないでください。
		収納バッグの中に、最大積載荷重（5kg）を超えるものを入れないでください。
トレイについて	!	トレイに物を載せて移動する際は落下しないように注意してご使用ください。
		トレイを直接持って脱着すると破損する恐れがありますので、必ず左右の丸棒を持って脱着してください。
		座面を使用する際はトレイを下げてください。
		トレイ装着の際は確実に丸棒が背もたれパイプ取り付け穴に取り付いていることを確認してください。歩行中にトレイが外れたり、載せたものが倒れることがあります。
	⊘	トレイに強い衝撃を与えないでください。トレイが破損する恐れがあります。また、トレイに熱湯や刃物など怪我の恐れがある物は絶対に載せないでください。
		トレイには最大積載荷重を超えるものを載せないでください。破損や転倒をする恐れがあります。（トレイの最大積載荷重 3kg）
		トレイに座らないでください、転倒や故障の原因になります。
		トレイに背の高い物を載せないでください。転倒することで怪我をする恐れがあります。
		トレイには乳幼児を乗せないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
		トレイに物を載せた状態で脱着しないでください。
		買い物カゴを積載した状態でトレイを装着しないでください。

各部のなまえ



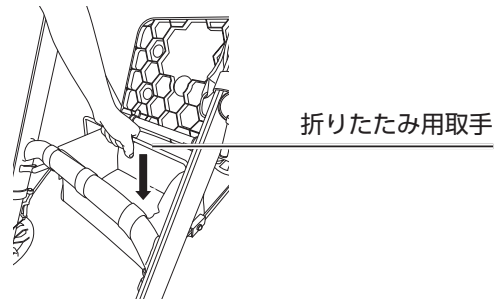
使用前の準備

車体を開く

- 1 支柱上部の折りたたみ用固定ピンを抜きます。



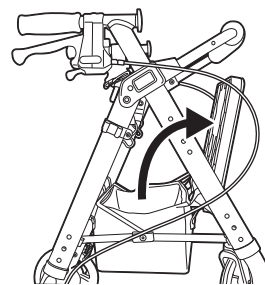
- 2 折りたたみ用取手を下方方向に押して、本体を開きます。



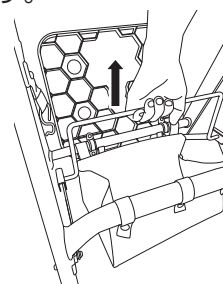
! 車体を開く際、フレームに手を挟まないようご注意ください。

車体をたたむ

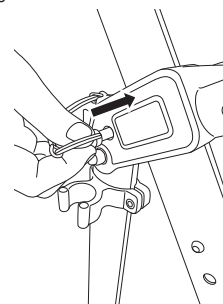
- 1 座面を開きます。



- 2 折りたたみ用取手を上方方向に引いて、本体を折りたたみます。



- 3 折りたたみ用固定ピンを、ピン差し込み口に差し込みます。

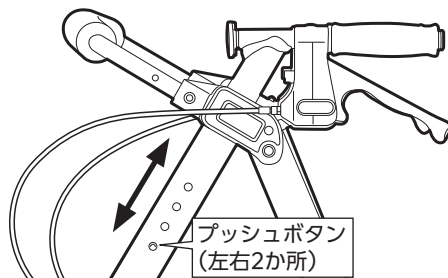


使用前の準備（つづき）

グリップの高さを調節する

押しボタンを押し込み、「カチッ」と音が鳴る位置まで動かして高さを調節します。

- ・押しボタンが適切な位置まで飛び出している（固定されている）ことを確認してください。
- ・グリップの高さは4段階に調節できます。左右2か所を同じ高さに設定してください。

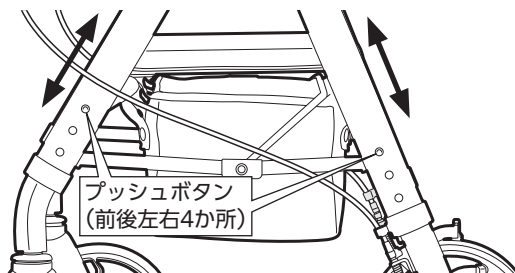


⊘ 左右のグリップ（2か所）は、高さが違う状態で使用しないでください。転倒による事故やけがの原因になります。

座面の高さを調節する

押しボタンを押し込み、「カチッ」と音が鳴る位置まで動かして高さを調節します。

- ・押しボタンが適切な位置まで飛び出している（固定されている）ことを確認してください。
- ・座面の高さは3段階に調節できます。脚部の前後左右4か所を同じ高さに設定してください。

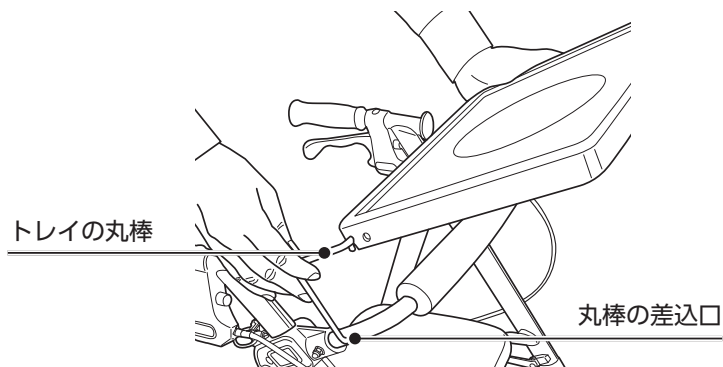


⊘ 前後左右の脚部（4か所）は、高さが違う状態で使用しないでください。転倒による事故やけがの原因になります。

トレイ（オプション）を取り付ける

トレイの丸棒（左右2か所）をフレームに差し込みます。

- ・丸棒の先とフレームが干渉し傷がつかないようにご注意ください。



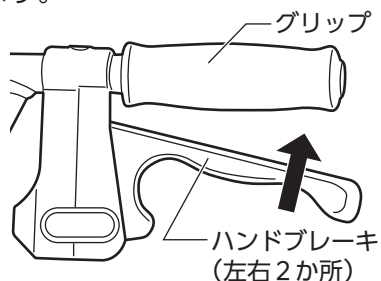
抑速ブレーキ（オプション）を調整する

オプションの抑速ブレーキ（CONPAL2）を調整する場合は、CONPAL2の取扱説明書をご参照ください。

使用方法

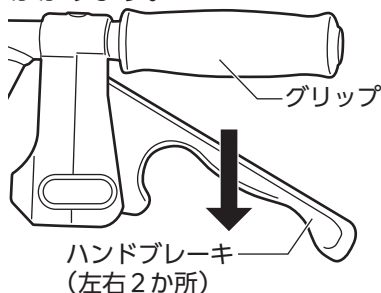
ハンドブレーキをかける

グリップを持ち、ハンドブレーキを握るとブレーキがかかります。



駐車ロックをかける

ハンドブレーキを押し下げると、後輪が固定され駐車ロックがかかります。



押して歩く

歩行時は以下のことに注意してください。事故や転倒によるけがの原因となります。

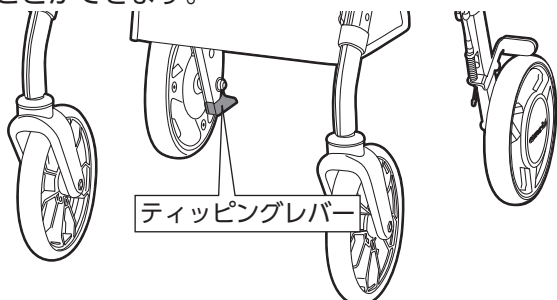


- ハンドルは両手で操作してください。
- ハンドブレーキは左右同時にかけてください。
- 歩行時は駐車ロックが左右とも解除されていることを確認してください。



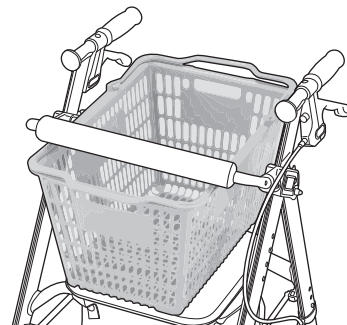
- グリップに体重をかけすぎないでください。
- 杖ホルダー（下部）に足を掛けしないでください。
- グリップを持ったまま後退しないでください。

歩行中に段差がある場合、ティッピングレバー（後輪のオレンジ色部分）を踏むことで前輪を持ち上げることができます。

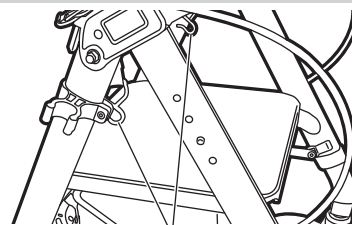


買い物カゴを載せる

スーパーやコンビニで買い物をする際、座面に買い物カゴを載せることができます。



- 買い物カゴは座面の中央に載せてください。
- 座面に買い物カゴを載せる場合、買い物カゴ脱落防止フックをカゴに掛けて固定してください。

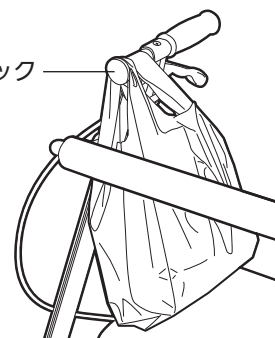


買い物カゴ脱落防止フック

買い物袋を吊り下げる

グリップ前方の買い物袋フックに、買い物袋などを吊り下げることができます。

買い物袋フック

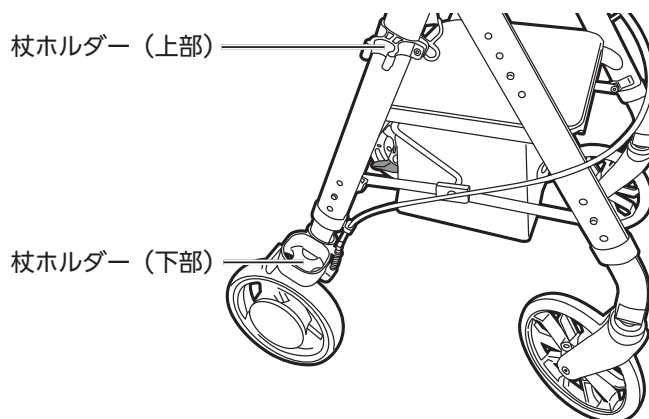


- 買い物袋フックに2kg以上の荷物を吊り下げないでください。
- 買い物カゴ脱落防止フックには荷物を吊り下げないでください。
- 買い物袋は座面側（内側）に吊り下げてください。

使用方法（つづき）

杖を固定する

杖ホルダー（下部）に杖の先端を差し込み、杖ホルダー（上部）に杖を固定することができます。



- 杖の直径が太い場合、無理に押し込まないでください。杖ホルダーが破損する恐れがあります。
- 確実に杖が固定されていることを確認してください。
- 杖ホルダーに、傘など杖以外のものを固定しないでください。
- 杖の先端は、確実に杖ホルダー（下部）に入れてください。

座面に腰掛ける

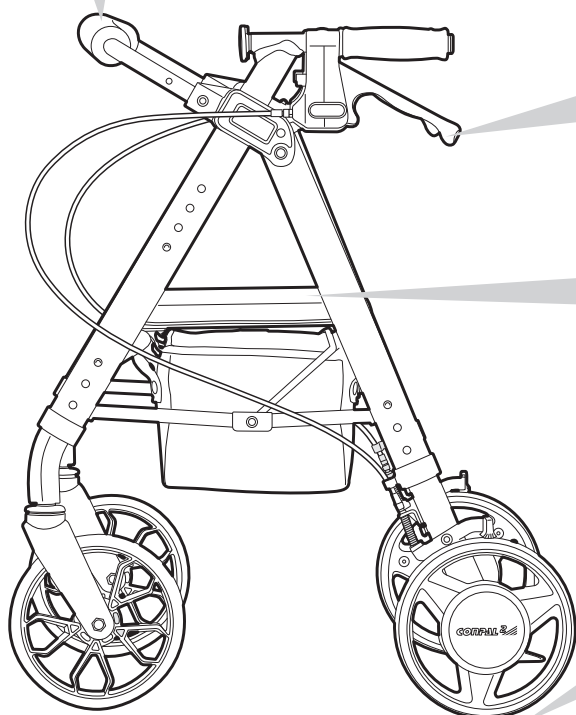
腰掛ける際は以下のことに注意してください。事故や転倒によるけがの原因となります。



背もたれに背中が付くように、座面には深く腰掛けてください。



背もたれに体重をかけて寄りかからないでください。



腰掛ける前に、駐車ロックが左右ともかかっていることを確認してください。



座面に座った状態で駐車ロックを解除しないでください。



座面には深く腰掛けてください。浅く座ると転倒の恐れがあります。



平坦で安定した場所で腰掛けてください。



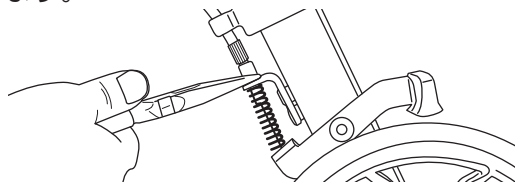
傾いた場所では腰掛けないでください。

メンテナンス・保管

ブレーキの調節について

ブレーキが緩い場合

- 1 ラジオペンチ等で、後輪上部のナットを固定します。

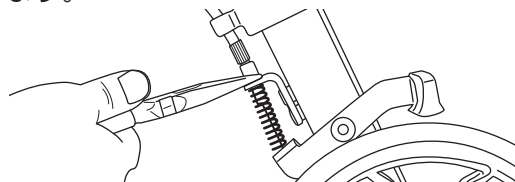


- 2 アジャスターボルトを回し、上の位置に固定するとブレーキレバーが固くなります。

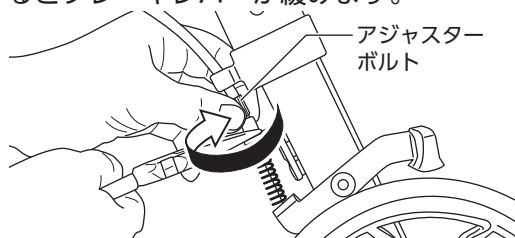


ブレーキが固い場合

- 1 ラジオペンチ等で、後輪上部のナットを固定します。



- 2 アジャスターボルトを回し、下の位置に固定するとブレーキレバーが緩みます。

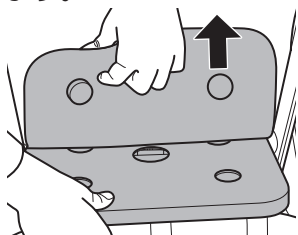


! ブレーキを調節してもブレーキが効かない場合、タイヤや本体の交換が必要なことがあります。詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

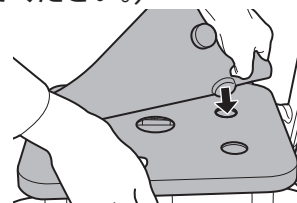
座面の交換について

・座面が劣化した場合、交換することができます。詳細は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

- 1 2層になっている座面の上部分を、下図のように取り外します。



- 2 新しい座面裏側の突起部分（4か所）を、本体のくぼみに合わせて押しこみ、座面を取り付けます。（浮き上がる部分がないようにしっかりと押し込んでください。）



お手入れ方法

・汚れがひどい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れをふきとり、その後、水でぬらした布で洗剤をふきとり、よく乾かしてください。

! 雨などで濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。

・座面の汚れは水で洗い流し、その後よく乾かしてください。

⊘ 研磨剤入りのスポンジは絶対に使用しないでください。
・塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。

メンテナンス・保管（つづき）

保管方法



・屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。



・雨ざらしになる場所、高温多湿な場所、直射日光が当たる場所では保管しないでください。故障や変形・破損の原因となります。

・車体を倒した状態で、車体の上に荷物を載せないでください。故障や変形・破損の原因となります。

故障かな？と思ったら

こんなときは	ここをお確かめください	対処方法
ブレーキのききが悪い	タイヤがすり減っていませんか。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	ブレーキに異常はありませんか。	ブレーキの調節（⇒9ページ）をしてください。調節しても改善しない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
走行操作が重い	車輪にゴミや異物が挟まっていませんか。	ゴミや異物を取り除いてください。
抑速ブレーキ付後輪が作動時にこすれるような音がする	抑速ブレーキは摩擦式のため、こすれるような音が多少発生しますが、故障ではありません。また、その音は温度や湿度などの環境によって変化する場合があります。	—



上記の対処をしても良くならない場合、またはいずれの症状も当てはまらない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

仕様

商品名	アルコーステラ	アルコーステラ 抑速ブレーキ付き	アルコーステラ トレイ付き	アルコーステラ 抑速ブレーキ・トレイ付き
品番	100660	100661	100662	100663
JANコード	4537711006602	4537711006619	4537711006626	4537711006633
TAISコード	00125-000110	00125-000111	00125-000112	00125-000113
材質	アルミ			
本体サイズ(mm)	幅529×奥行641×高さ772～889mm			
重量	8kg	9.2kg	8.9kg	10.1kg
キャスター	8インチ	8インチ 後輪/CONPAL2	8インチ	8インチ 後輪/CONPAL2
高さ調節	プッシュボタン式 12段階（脚部3段階+グリップ部4段階）772～889mm			
最大使用者体重	100kg			
最大積載荷重 (収納バッグ)	5kg			
最大積載荷重 (トレイ)	—	—	3kg	3kg

保証とアフターサービス

1.保証書

保証書は必ず所定の事項を記入のうえ大切に保管して下さい。

2.修理を依頼される時

以下の内容をご確認のうえお買い上げの販売店までご連絡下さい。

●連絡していただきたい内容

品名とお買い上げ日

破損・異常の内容をできるだけ詳しく

施設名、お名前、ご住所、電話番号

●保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし、保証期間内でも有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた後は

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

補修用性能部品は製造打切り後5年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.ご相談について

お手入れ・お取り扱い方法などでお困りの場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせ下さい。

保証書

品名	
お買い上げ年月日	
お買い上げ販売店名	

【保証規定】

- 1.この商品の保証期間はお買い上げの日より1年間です。
- 2.保証期間内は部品の欠落や加工不良など、メーカーの責任によるものは無償で修理いたします。
- 3.次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - a. 使用上の誤りや取扱い不注意による故障・損傷
 - b. 弊社以外で行われた不当な修理や改造による故障・損傷
 - c. タイヤ・車輪・ブレーキパッドの自然消耗
 - d. 地震や風水害などの天災及び事故や火災などによる故障・損傷
 - e. 間違った使用方法で生じた故障・損傷
 - f. 気温・湿度などが特殊な環境の中で使用して生じた故障・損傷
 - g. 取扱説明書に従わないで生じた故障・損傷
 - h. 日本国外でご使用の場合
- 4.一度使用したものは原則として製品のお取替えは出来ません。
- 5.この商品を第三者にお譲りになれる場合、本書も必ずあわせてお渡し下さい。
- 6.この保証書がない場合は保証対象外になります。

株式会社 **星光医療器製作所**

本社・工場 〒578-0901 東大阪市加納5丁目11-6
TEL (072) 870-1912(代)
FAX (072) 870-1915

URL <https://www.seiko-aruko.jp/>
E-mail office@aruko.co.jp

(2024年9月)

抑速ブレーキユニット

CONPAL 2 

取扱説明書

アルコーステラ装着時用

NCB-8E-SH



【ユーザー、販売業者向け】

1 ユーザー、販売業者向け内容.....	3
1-1 注意事項.....	3
1-2 ご使用前.....	3
1-3 ご使用場所(場面)の注意.....	4
1-4 ご使用時.....	4
1-5 修理、点検時.....	5
1-6 保管時.....	5
2 機器の特徴と各部の名称.....	6
2-1 機器の特徴.....	6
2-2 各部の名称.....	6
3 日常の点検とお手入れ.....	7
3-1 日常点検.....	7
3-2 タイヤゴムの交換時期確認方法.....	8
3-3 お手入れ.....	9
4 おかしいなと思ったら.....	10
4-1 ご使用時になにかおかしいなと思ったら.....	10
5 諸元.....	11
5-1 製品仕様.....	11

【販売業者向け】

6 販売業者向け内容.....	12
6-1 取り扱い時.....	12
6-2 定期点検.....	13
6-3 歩行車との取り付け方法.....	13
6-4 抑速ブレーキ力調整方法.....	15
6-5 タイヤゴムの交換方法.....	17

本書は、CONPAL2(以下 CONPAL ユニット)についてご説明しております。

歩行車本体に関する警告・注意などは記載しておりませんので、ユーザーへお渡しの際は、取り付けを行う歩行車本体の取扱説明書を別途ご準備ください。

前半(3~11 ページ)はユーザー向け、後半(12~20 ページ)は販売業者向けで構成しております。

ユーザー向けの前半では、ユーザーに伝えていただきたいことを記載しております。

歩行車本体の取扱説明書にこの内容を記載していただき、必ずユーザーに伝わるようお願いいたします。

なお、本書では説明上わかりやすいように、一部形状や色を変更しております。

※「**CONPAL**」は、ナブテスコ株式会社の登録商標です。



【ユーザー、販売業者向け】

1 ユーザー、販売業者向け内容

1-1 注意事項

安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みになり、取扱い上の警告・注意や製品の特徴などをよくご理解いただいたうえで正しくご使用ください。

正しい取扱いに関する必要事項を、シンボルで表示しています。

 警告	取扱いを誤った場合、 死亡 または、 重傷 にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、 傷害 にいたる可能性または、 物的損害 の発生が想定される場合を示しています。

1-2 ご使用前

警告

以下のことをしてください。

- ・ CONPAL ユニットを安全に使用するために、使用前に日常点検(P7)を実施し、1年ごとに定期点検を受けてください。

点検で異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。

異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります

以下のことをしないでください

- ・ CONPAL ユニットを取り外し、他の歩行車や機器に取り付けしないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットを落とさないでください。
部品が壊れて転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かずに転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。
- ・ CONPAL ユニットに油やグリースを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

注意

以下のことをしてください。

- ・ ご使用の際には必ず使用者の体調を確認し、安全に使用できるよう十分注意してください。
- ・ 歩行車運搬時に CONPAL ユニットを持たないでください。
CONPAL ユニットとフレームで手を挟み、怪我のおそれがあります。

1-3 ご使用場所(場面)の注意



警告

以下のことをしないでください

- ・ 滑りやすい環境では使用しないでください。
タイヤがスリップして抑速ブレーキが効かず、転倒のおそれがあります。
- ・ キャスターに水がかかる環境では使用しないでください。
完全な防水構造ではないため、内部に大量の水が入り、抑速ブレーキが効かず、転倒のおそれがあります。



注意

以下の場所では、十分に注意して使用してください。

.

1-4 ご使用時



警告

以下のことをしてください。

。

- ・ センターキャップは必ず取り付けられた状態で使用してください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒のおそれがあります。
外れている場合は、販売店にご連絡ください。

以下のことはしないでください。

- ・ 抑速ブレーキ力の調整はしないでください。
抑速ブレーキ力の調整を誤ると、転倒のおそれがあります。ブレーキ力の調整が必要な場合は、販売店にご連絡ください。
- ・ ユニット耐荷重を超えるような使用はしないでください。
部品への過負荷により使用中に破損し転倒のおそれがあります。

1-5 修理、点検時

警告

以下のことはしないでください。

- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かずに転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。
- ・ センターキャップは外さないでください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
- ・ グリースや油は絶対に入れないでください。
十分なブレーキ力が得られず転倒するおそれがあります。

1-6 保管時

警告

以下のことをしないでください。

- ・ 水がかかる場所や、雨風にさらされる場所での保管はしないでください。
錆による動作不良のため、転倒するおそれがあります。
- ・ 車のトランクやダッシュボードなど、高温になる場所には保管しないでください。
樹脂やタイヤの変形による動作不良のため、転倒するおそれがあります。

以下のことをしてください。

- ・ やむなく水がはいった場合は、以下のことをして抑速ブレーキ力が回復することを確認してから使用してください。
 1. 前後に5、6回スピードをつけて動かす。
 2. 自動で抑速ブレーキがかかることを確認する。

注意

以下のことをしないでください。

- ・ 歩行車運搬時に CONPAL ユニットを持たないでください。
CONPAL ユニットとフレームで手を挟み、怪我のおそれがあります。

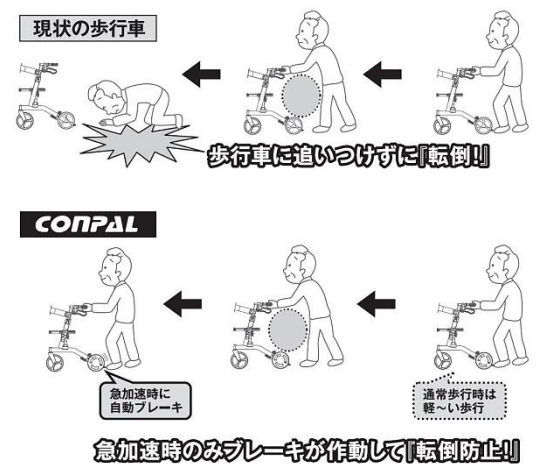
2 機器の特徴と各部の名称

2-1 機器の特徴

CONPAL ユニット(抑速ブレーキユニット)は、歩行車に取り付けることにより、急加速時に自動でブレーキが作動して、歩行車での転倒リスクを低減します。

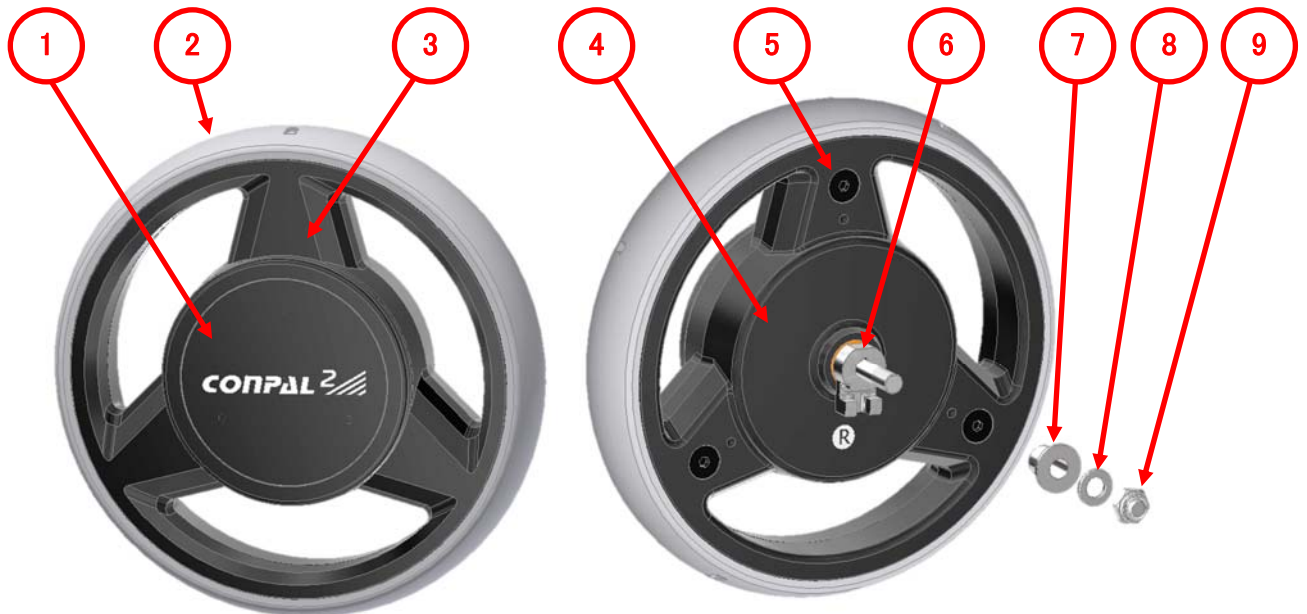
また、従来の抵抗器とは異なり、急加速時のみブレーキが作動しますので、通常の歩行ではブレーキがかからずスムーズに歩行ができます。

CONPAL ユニット(抑速ブレーキユニット)は、加速を抑えることができるブレーキであり、歩行車を完全に止めることはできませんので、歩行車から完全に歩行者が離れてしまったときなどは転倒するおそれがありますので、ご注意ください。



2-2 各部の名称

図1



外側図

内側図

No.	名称	備考
1	センターキャップ	
2	タイヤゴム(黒)	
3	ホイール(外側)	
4	ホイール(内側)	
5	ホイール取付ボルト	3本使用(M6×25) ※ニッセイテクニカ社 NEO 加工
6	アダプタ	
7	ブッシュ	
8	ワッシャ	
9	本体取り付けナット	(袋Uナット M8)

3 日常の点検とお手入れ

3-1 日常点検

警告

以下のことをしてください。

- ・ CONPAL ユニットを安全に使用するために、使用前に日常点検を実施し、1年ごとに定期点検を受けてください。
点検で異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります
- ・ 利用環境や歩行能力に変化があった場合は、販売店にご連絡ください。
抑速ブレーキ力が弱すぎると、止まれずに転倒のおそれがあります。
また、強すぎると、使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。

以下の日常点検を行うことで、商品をより安全にお使いいただくことができます。

問題がある場合は販売店にご連絡ください。

No.	点検内容	点検箇所・項目	確認方法	チェック欄
1	タイヤゴムやホイールにひび割れや変形はないか？	タイヤゴム	目視・触指により確認	
		ホイール(外側・内側)		
2	タイヤゴムが磨耗し、スリップサインが消えていないか。	タイヤゴム	目視により確認(P8 参照)	
3	抑速ブレーキ力が足りない/強すぎるなどはないか？	CONPALユニット	運転確認	
4	使用時にこすれ音や異音はないか？	CONPALユニット	運転確認	
5	コンパルユニットにガタつきがないか。	CONPAL ユニット	目視・触指により確認	
6	センターキャップが取り付けられているか。外れやすくなっていないか。	センターキャップ	目視・触指により確認	

3-2 タイヤゴムの交換時期確認方法

タイヤゴムが摩耗して、交換時期になっていないか確認します。

右図のようにタイヤゴム表面には溝があります。(4箇所)

この溝が、左右のどこか1つでも見えなくなっている場合は
タイヤゴムの交換時期です。

使用を中止し、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

図 2



警告

以下のことをしてください。

- ・ 左右のタイヤゴムは同じタイミングで交換する必要があります。
左右均等に効かず、転倒のおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ タイヤゴムの溝が 2~3 か月以内の早期になくなる場合は、CONPAL ユニートを引きずった状態で使用している可能性がありますので、以下の(1)~(3)をご確認の上、ご対応ください。使用中の過負荷により部品が破損し、転倒するおそれがあります。

タイヤゴムが早期摩耗している場合の対応

(1) 抑速ブレーキ力の調整

ブレーキ力が強すぎる可能性がありますので、安全に支障のない範囲で
ブレーキ力を弱めに再調整する必要があります。

抑速ブレーキを調整する場合は、**お買い上げの販売店にご連絡ください。**

(2) 速度を抑えた走行

歩行速度が速い程、タイヤのスリップが生じやすくなります。

。

※時速 3.2km は、おおよそ 90cm を 1 秒程度で歩行する速度になります。

(3) 定期点検

異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し**速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。**

また、異常がない場合でも 1 年毎の定期点検をしてください。

3-3 お手入れ

警告

以下のことをしてください。

- ・ やむなく CONPAL ユニット内部に水が入った場合は以下のことを行ってください。
 1. 前後に 5、6 回スピードをつけて動かす。
 2. 自動で抑速ブレーキがかかることを確認する。
- ・ 乾燥させる場合は 60°C 以下で行ってください。
60°C を超えると樹脂部品が変形し転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 水、油、石鹼水、クリーナーなどを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

日常のお手入れ

- ・ 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- ・ 汚れがひどい場合は水を含ませ強くしぼった布で拭いてください。

4 おかしいなと思ったら

4-1 ご使用時になにかおかしいなと思ったら

警告

以下のことをしてください。

- ・ 異常が見つかった場合は、ただちに使用をやめて販売店にご連絡ください。
異常のある状態で使用し続けると、使用中に壊れ転倒するおそれがあります。
- ・ CONPALユニットの分解や改造をしないでください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
修理が必要な際には販売店にご連絡ください。

以下のことをしないでください。

- ・ CONPAL ユニットに水、油、石鹼水、クリーナーを使用しないでください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

各状況に応じて、以下の内容に沿って調べてください。それでも直らない場合は、販売店にご連絡をお願いします。

状況	調べること	処置
抑速ブレーキの利きが悪い または利き方に左右差がある	-	すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。
異音がする ※	車輪の軸に何か挟まっていますか？	挟まっているものを取り除いてください。 解消しない場合には、販売店にご連絡ください。
CONPAL ユニットが大きく振れる	ボルト・ナットが緩んでいませんか？	すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。

※ 抑速ブレーキ作動音…CONPAL ユニットの抑速ブレーキ機構は摩擦式の為、こすれるような音が多少発生します。
また、その音は気温や温度などの環境によって変化します。

5 諸元

5-1 製品仕様

寸法	車輪外径 ϕ 204mm 車輪幅 35mm
重量(一輪)	1.1 kg (調整用六角レンチを含まない)
ユニット耐荷重(荷物含む)※	100 kg (4輪の歩行車につけた場合)
抑速ブレーキ力	1m 降下する時間が 2.5 秒以上 (歩行車: 重量約 6.5kg の 4 輪歩行車、抑速ブレーキ力: 強、坂道角度: 8°)
速度調整	4 段階 歩行速度の上限設定 強: 1.2km/h / 中: 1.8km/h / 弱: 2.6km/h / 微弱: 3.2km/h
保管温度	-25~70 °C

※ 最大使用者体重については、別途最終製品で耐荷重を評価の上設定をお願いいたします。

記載内容や仕様などは、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

【販売業者向け】

本書の前半部に、ユーザー、販売業者向け合わせた内容を記載しております。
本ページ以降の記載内容に加えて、必ずご確認ください。

6 販売業者向け内容

6-1 取り扱い時

警告

以下のことをしてください。

- ・ コンパルユニット取付け後は、必ず動作確認をしてください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
- ・ ボルト、ナットは規定トルクで締め付けてください。
使用中に部品が脱落し、転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットのアダプタの回り止めが所定の位置にはまっているか確認してください。
車輪が外れ転倒するおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力は使用者の歩行能力や利用環境に合わせて調整してください。
抑速ブレーキ力が弱すぎると、止まれずに転倒のおそれがあります。また、強すぎると、使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。
- ・ CONPAL ユニットの左右を確認して取り付けてください。
抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 部品を交換する際は、指定の部品以外は使用しないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。

注意

以下のことをしないでください。

- ・ 調整窓に指を入れないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキの調整範囲を超えてレンチを回さないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。
- ・ 調整後に六角レンチを付けたまま使用しないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

6-2 定期点検

日常点検とお手入れ (P7)を確認して、ユーザーへの点検の依頼と合わせて販売業者でも定期的に点検を実施してください。

6-3 歩行車との取り付け方法

警告

以下のことをしてください。

- 本体取付ナットは緩み防止剤を塗布したうえで指定の締付トルクで締めこんでください。
CONPAL ユニットが外れて、転倒するおそれがあります。
- アダプタの回り止めが所定の位置にはまっているか確認してください。
CONPAL ユニットが外れ転倒するおそれがあります。
- CONPAL ユニットは左右を確認して取り付けてください。
抑速ブレーキ力がかからず、転倒するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- CONPAL ユニットを取り外し、他の歩行車や機器に取り付けしないでください。
予期せぬ事故のおそれがあります。
- CONPAL ユニートを落とさないでください。
部品が破損し転倒するおそれがあります。

6-3 歩行車との取り付け方法

- ① ホイール内側の左右識別シールで、取り付け方向を確認します。(図 4)
(センターキャップ内の識別番号からも取り付け方向は確認できます。(図 5))
- ② CONPAL ユニットの車軸からアダプタを外して L 金具に差し替えます。(図 3)
- ③ CONPAL ユニットの歩行車外側からフレームに L 金具が引っ掛かるように取り付けます。(図 4)
- ④ フレーム内側から車軸にワッシャとブッシュと新品の本体取り付けナット(ロックタイト243(または248)を塗布したものを、取り付け規定トルク(15±10%Nm)で締め込みます。(図 4)
- ⑤ はみ出したロックタイトをふき取ります。

図 3

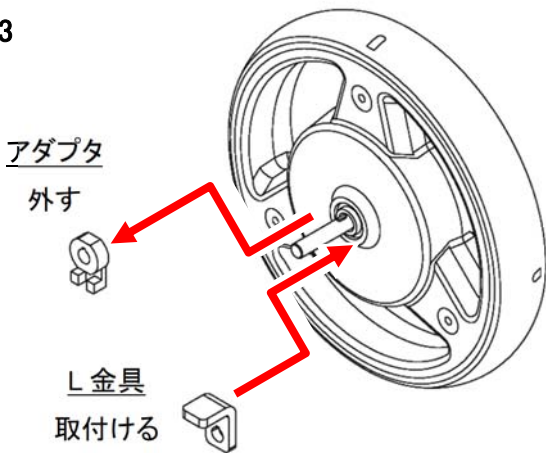
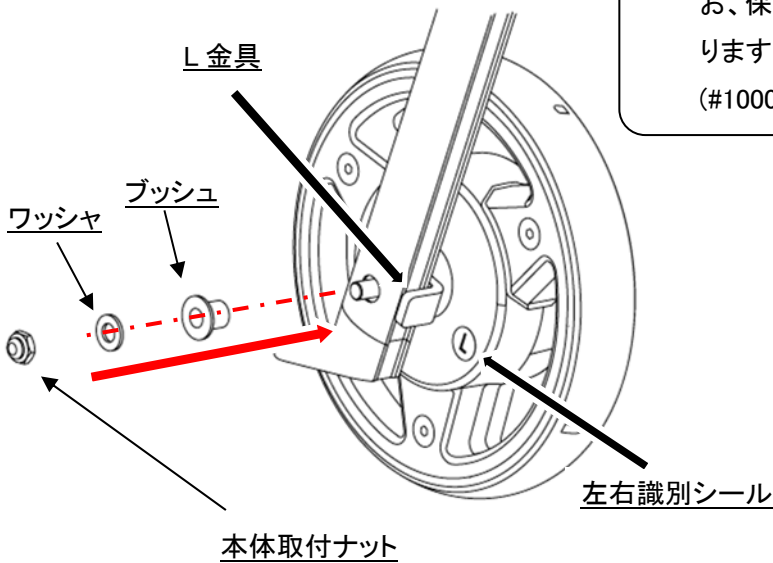
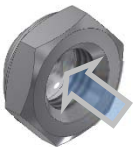


図 4



ロックタイト243(または248)を塗布
(ネジ部の奥から 2~3 山の半周程度)
規定トルク 15±10%Nmで締め付ける



文字表記と取り付け方向

Rの場合:

歩行車後方から見て、“右”に取り付けてください。

Lの場合:

歩行車後方から見て、“左”に取り付けてください。

取り付け例 図3の場合

歩行車後方から見て、“右”に取り付けてください。

⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ 車軸のネジ部は取付前に脱脂洗浄をしてください。なお、保管条件によっては多少の錆が発生する場合がありますが安全上の問題はありません。サンドペーパー(#1000 程度)で軽く擦ると取ることが出来ます。

図 5



⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ ロックタイトは本体取付ナットのネジ部の奥から 2~3 山まで塗ってください。緩み止め効果が得られず、転倒するおそれがあります。
- ・ 必ず新品の本体取付ナットを使用してください
本体取付ナットを再利用すると、使用中にゆるみ転倒するおそれがあります。

6-4 抑速ブレーキ力調整方法

⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ 抑速ブレーキ力は必ず販売店や療法士の方が、使用者の歩行能力や利用環境に合わせて調整してください。
抑速ブレーキ力と使用者の運動レベルの不一致により、予期せぬ転倒につながる恐れがあります。
- ・ 調整後、センターキャップは必ず取り付けられた状態で使用してください。
ゴミや水の内部への侵入により抑速ブレーキがかからず、転倒するおそれがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力は、左右同一に調整してください。
抑速ブレーキ作動時に直進せず、転倒するおそれがあります。

⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ センターキャップはコインやマイナスドライバーを使用して外してください。
爪で外そうとすると、怪我をする恐れがあります。

以下のことをしないでください。

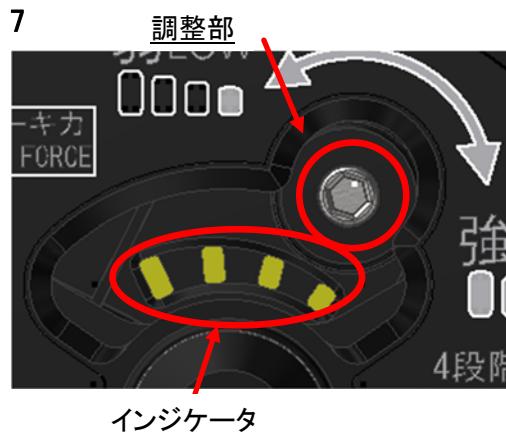
- ・ 調整窓に指を入れしないでください。
指をはさんで、怪我をする恐れがあります。
- ・ 抑速ブレーキ力の調整範囲(4段階)を超えて、レンチを回さないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。
- ・ 調整後に六角レンチを付けたまま使用しないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

- ① 歩行車に取り付けた状態のまま、CONPAL ユニットのセンターキャップを取り外します。(図 6)
- ② CONPAL ユニットの回転させ、調整窓と調整部の位置を合わせます。(図 6)
- ③ 調整部の六角穴に、付属の六角レンチを差込みます。
- ④ 六角レンチを調整部に入れて、インジケータの調整レベルを変更することで、抑速ブレーキ力の調整を行います。(図 7)抑速ブレーキ力 微弱、弱、中、強 それぞれの調整位置は図 8～図 11 を参照してください。
- ⑤ 調整が完了したら、六角レンチを取り外し、センターキャップを取り付けます。
- ⑥ 左右の CONPAL ユニットともに、同じ強さの抑速ブレーキが作動することを確認します。

図 6



図 7

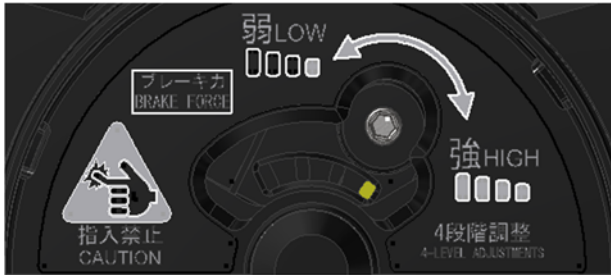


⚠ 注意

以下のことをしないでください。

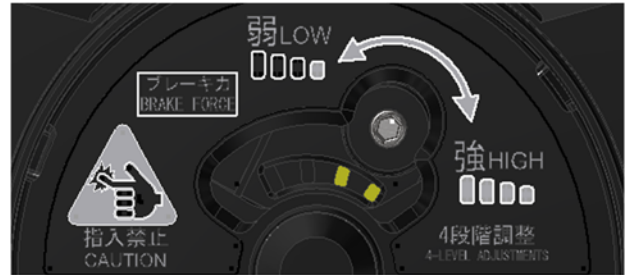
- ・ 市販の六角レンチは使用しないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。付属の六角レンチは長い方だけ差し込めるように、意図的に深く曲がっています。
- ・ 抑速ブレーキの調整範囲を超えてレンチを回さないでください。
CONPAL ユニットが破損するおそれがあります。

図 8



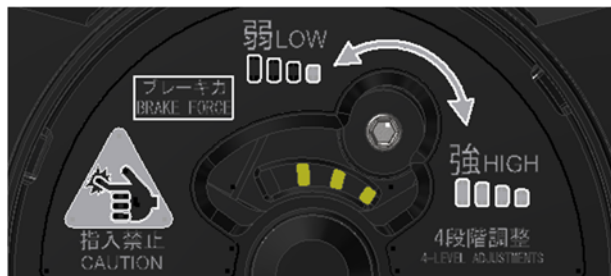
抑速ブレーキ力:微弱
(歩行速度: ~3.2km/h)

図 9



抑速ブレーキ力:弱
(歩行速度: ~2.6km/h)

図 10



抑速ブレーキ力:中
(歩行速度: ~1.8km/h)

図 11



抑速ブレーキ力:強
(歩行速度: ~1.2km/h)

⚠ 警告

以下のことをしてください。

- ・ 抑速ブレーキ力は通常歩行速度より早い速度で歩いた時に働くように調整してください。
使用中の過負荷によって部品が破損し、転倒するおそれがあります。
タイヤが早期に摩耗する際は抑速ブレーキ力が強すぎることがあります。(P8)

6-5 タイヤゴムの交換方法

警告

以下のことをしてください。

- ・ タイヤゴム交換後は、必ず動作確認をしてください。
正しく動かず転倒するおそれがあります。
- ・ 左右のタイヤゴムは同じタイミングで交換する必要があります。
ハンドブレーキが左右均等に効かず、転倒のおそれがあります。
- ・ タイヤゴムの交換作業は、必ず CONPAL ユニートをフレームに取り付けた状態で行ってください。
作業中の部品の脱落により、正しく動かず転倒するおそれがあります。

注意

以下のことをしてください。

- ・ ホイール取付ボルトは規定トルクで締めこんでください。
部品が脱落して、CONPAL ユニートが破損するおそれがあります。

以下のことをしないでください。

- ・ 調整窓に指を入れしないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。

タイヤゴム交換方法①

⚠ 注意

以下のことをしてください。

- ・ タイヤゴムの交換は、CONPAL ユニットとブレーキパッドと車体などと指を挟まないよう十分注意して行ってください。
- ・ タイヤゴムを取り外す際に道具を使用する場合は、道具の使用によるけがや道具の破損またはそれによるけがに十分注意して行ってください。

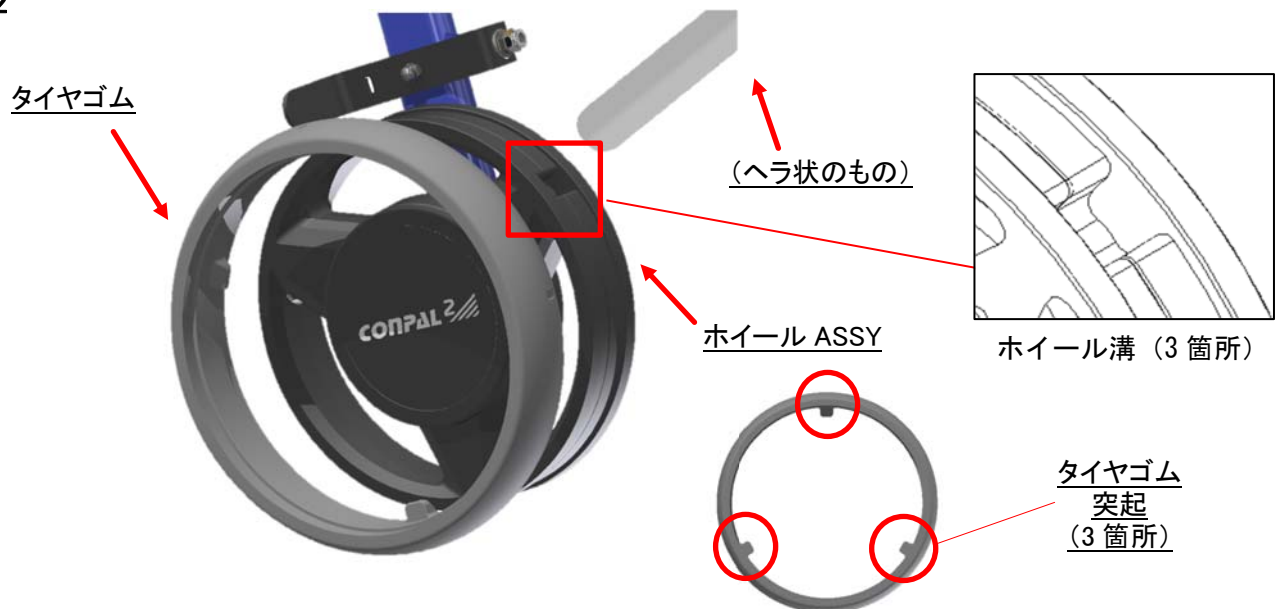
① CONPAL ユニートを歩行車に装着した状態で、ホイール ASSY からタイヤゴムを外します。(図 12)

タイヤゴム取り外す際は、へら状のものを使用していただくと簡単です。

② 新品タイヤゴム突起を、ホイール溝に合わせて取り付けます。

③ 左右の CONPAL ユニットともに、抑速ブレーキが作動することを確認します。

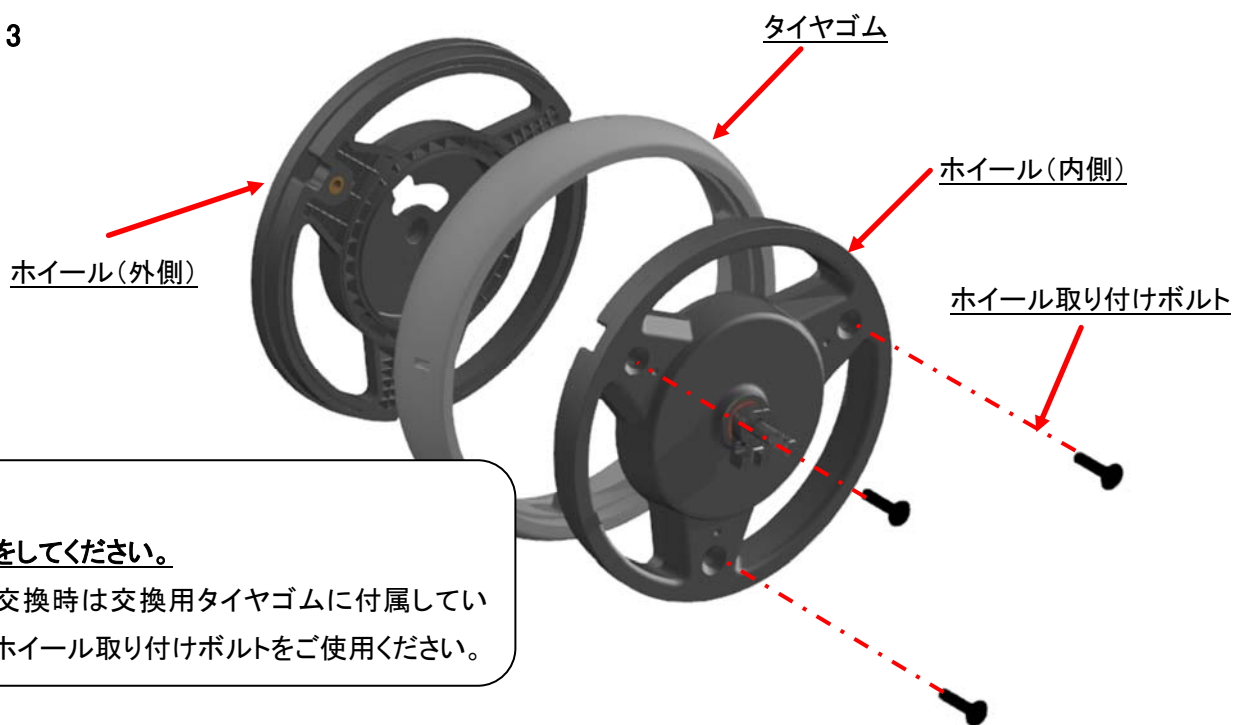
図 12



タイヤゴム交換方法②

- ① CONPAL ユニートを歩行車に装着した状態で、ホイール取り付けボルト 3 本を緩めて、ホイール(外側)とタイヤゴムを外します。(図 13)
- ② 新品タイヤゴムの突起を、ホイールの溝に合わせて取り付けます。(図 14)
- ③ ホイール(外側)をホイール(内側)に合わせて取り付けます。
- ④ 交換用タイヤゴムに付属している、新品のホイール取り付けボルト 3 本を規定トルク(2.6±10%Nm)で締めます。
- ⑤ 左右の CONPAL ユニートともに、抑速ブレーキが作動することを確認します。

図 13



注意

以下のことをしてください。

タイヤゴム交換時は交換用タイヤゴムに付属している、新品のホイール取り付けボルトをご使用ください。

図 14



⚠ 注意

以下のことをしてください。

タイヤ交換後、正しくついているか確認してください。

横から見た図



上から見た図



本体フレーム発売元および製造元

株式会社星光医療器製作所

〒578-0901 東大阪市加納 5 丁目 11-6

TEL 072(870)1912

FAX 072(870)1915

URL <https://www.seiko-aruko.jp>

E-mail : office@aruko.co.jp

CONPAL2 発売元および製造元

ナブテスコ株式会社

住環境カンパニー 福祉事業推進部

※ 記載内容や仕様などは、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。